

令和4年度 事業報告書

2023年3月
奈良県 南部東部振興課

事業実施の背景

奈良県南部・東部地域の19市町村では、地域の人口減少によって引き起こされる問題など様々な地域課題を抱えている。こうした地域課題を解決することで、地域全体の活性化と住みやすさ向上を図り、「豊かで持続可能な暮らし」を実現することが急務となっている。本事業では、「豊かで持続可能な暮らし」の実現に向け、デジタル技術を活用することで地域課題の解決や、移住・定住促進までを見据えて推進していくことを目指す。

また、奈良デジタル戦略や「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」の基本理念のもと、実行するものとする。

奈良デジタル戦略 (奈良県全体のデジタル戦略)

■ 基本的方向性

行政サービスのユーザーである住民のために「デジタル化によりできること」を実現する

■ 8つのデジタル原則 (プリンシプル)

- ① マイナンバーカードの普及とマイナンバー・法人IDの利活用
- ② 住民目線の仕組み
- ③ モバイル接点
- ④ 情報連携とシステムの共同化
- ⑤ クラウドbyデフォルト
- ⑥ 県・市町村・準公共分野の協働
- ⑦ 情報セキュリティ・個人情報保護の確保
- ⑧ デジタルデバインドへの対応

■ テーマと重点プロジェクト等

- 1: 行政手続き・業務の組み直しによる行政サービスの刷新
- 2: デジタルを活用した「住むと元気になれるまち」の創出
- 3: 子育て家庭や高齢者が抱える課題の解決
- 4: 南部東部地域の健康増進・生活支援
- 5: デジタルを活用した事業者の経営改善
- 6: 食と農の収益力向上と賑わいづくり
- 7: 雇用と生産性向上や収益拡大等につながる日本随一のリカレント教育の展開
- 8: 県土マネジメント等のデジタル・トランスフォーメーション

「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」基本理念

(抜粋)

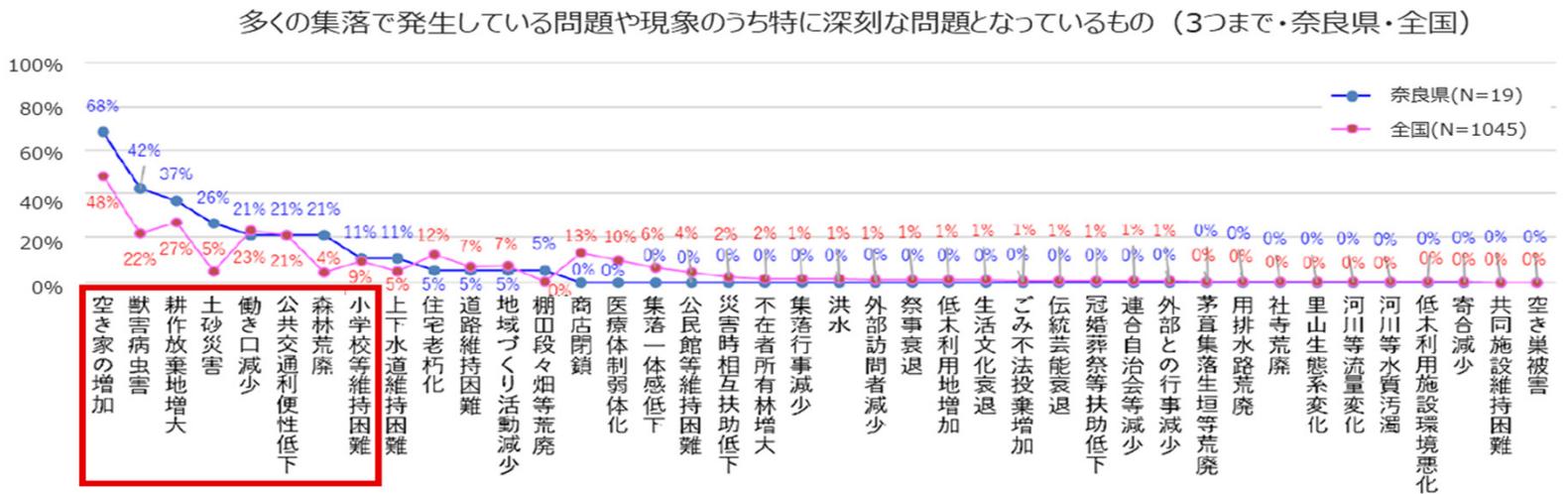
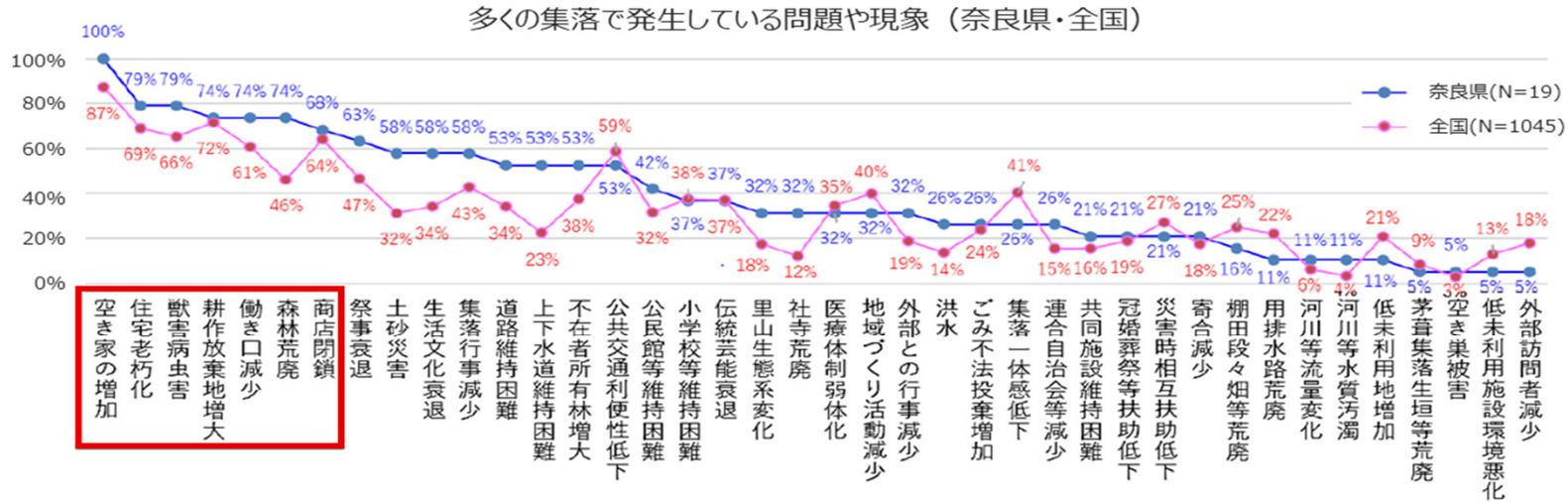
南部・東部地域における産業の振興、雇用の創出、生活環境の確保及び充実等を図り、これらの目的に沿う拠点の形成、拠点間の結節の確保並びに必要な人材の育成及び確保に取り組むことにより、南部・東部地域の人口の社会減少を抑制し、持続的発展を図る。

地域の人口の社会減少を抑制し、持続的発展を図る。

奈良県南部・東部 19市町村が抱える地域課題をデジタル技術を活用して解決し
さらに豊かで持続可能な暮らしの実現を目指す

南部・東部地域における課題

南部・東部地域が抱える問題としては、空き家の増加、住宅老朽化、獣害病虫害、耕作放棄地増大、働き口減少、森林荒廃、商店閉鎖、催事衰退、土砂災害、公共交通利便性低下、小学校維持困難などが上位項目として挙がっています。



出典：令和2年度国立大学法人奈良女子大学・奈良県共同研究「奈良県南部・東部地域の集落構造分析と社会地図化」

南部・東部地域における課題 <モデル地域における抽出した課題の整理>

自治体職員へのヒアリング、地域事業者とのワークショップの結果から、課題を抽出・整理し、下表にまとめた。

地域事業者の課題については、個々の事業者毎に課題が異なる部分も見受けられたが、生活における主な課題については共通する部分があり、「買い物」「高齢独居世帯の見守り」「移動・交通」「空き家」などが挙げられる。

また、高齢者のデジタルデバイドの問題についてもデジタル化推進をしていく上での地域共通の課題として挙げられる。

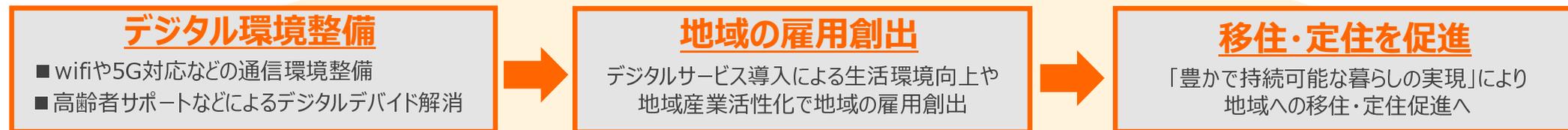
地域共通の生活における主な課題	<p>買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 買い物ができる場所が少ない。 ■ 移動手段がなく、買い物に行きづらい。 ■ コーブ注文書の字が小さくて見えない。 <p>など</p>	<p>高齢独居世帯の見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 独居世帯が増加、高齢者の孤独死もある。 ■ 離れて暮らす家族の方が不安を感じている。 ■ 見守り装置は導入率が低い。 <p>など</p>	<p>移動・交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 移動手段があまりない。車がないと店や病院にも行きづらい。 ■ 塾や学校の送迎などは家族の負担も大きい。 ■ バスの本数も少ない。 <p>など</p>	<p>空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減に伴い空き家が増加。放置すると倒壊などの危険性も。 ■ 仏壇があるなど、諸般の事情で手放せない人も多い。 ■ 利用者とのマッチングが難しい。 <p>など</p>
	<p>デジタルデバイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者はスマートフォンよりもガラケーの人が多。携帯電話を持っていない人もいる。スマホ移行は難しいとの声も。 ■ 光回線などネット環境はあっても高齢者でインターネット利用者は少ない。 <p>など</p>			
地域事業者の実現したいこと	<p>活動や成果の見える化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コミュニティナースなどの日々の活動や健康の記録などがアナログでの管理のためデジタル化して蓄積、共有できないか。 ■ 活動に共感する都心部の人達に、木材加工品などをデジタルで販売できないか。 <p>など</p>	<p>農家の販売支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 属人的な働き方から共有・効率アップを図りたい。 ■ 計画生産ができる仕組みを作りたい。 ■ 農産物の需給マッチング、物流の最適化。 <p>など</p>	<p>生産者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の農産物を都会の人達にも、もっと知ってもらいたい。 ■ 作業データの蓄積と共有。 ■ 位置情報と連動した勤怠管理。 ■ 圃場でのネット環境、トイレ環境の整備。 <p>など</p>	

南部・東部地域の目指すべき将来構想（ありたい姿）

これまでに抽出した課題やアドバイザーの意見を踏まえ、南部・東部地域の目指すべき将来構想（ありたい姿）を以下のように設定。



「豊かで持続可能な暮らしの実現」を目指して



デジタル環境整備

- wifiや5G対応などの通信環境整備
- 高齢者サポートなどによるデジタルデバイド解消

地域の雇用創出

デジタルサービス導入による生活環境向上や
地域産業活性化で地域の雇用創出

移住・定住を促進

「豊かで持続可能な暮らしの実現」により
地域への移住・定住促進へ



高齢者見守り

例 独居高齢者世帯の見守りサポート
(デジタル見守りツール活用による家族の不安解消、介護スタッフの負荷削減)



健康・医療支援

例 デジタル活用による健康寿命延伸
(オンライン診療、健康増進アプリの導入等で子供、高齢者の健康支援)



買い物支援

例 買い物難民サポート (自宅と店舗をオンラインで繋ぎ、実際の商品を見ながら買い物ができるように支援)



移動・交通対策

例 高齢者等交通弱者への配慮と脱炭素への貢献 (デマンド交通、ライドシェアなど)



行政手続き支援

例 住民票発行などの行政手続きをデジタル化 (WEB上で行政手続きができるデジタル役場設置/メタバースも活用)



教育支援

例 IoAの活用 (遠隔地交流授業を実施→他校との交流により、地域の魅力発信にも)



子育て支援

例 子育て世帯のサポート強化 (デジタルでママ友をつなぐ、子育て用品の共有・譲り合い、知育、遊びの仕組みなど)



仕事マッチング

例 デジタル活用の地域雇用創出 (働きたいけど働けない高齢者や子育てママと人手不足に悩む事業所をマッチング)



獣害対策

例 農確認の負担軽減 (農にかかった獣をセンサーで検知して知らせることで人的負担軽減)



空き家対策

例 空き家を活用したい人とのマッチングサービス (5G環境整備によるシェアオフィス、ワーケーションの誘致など)



生産者支援

例 生産品のデジタルPR (地域産品や木工品などの製造工程をオンラインで紹介して販売支援)



出会いの支援

例 デジタル活用による男女の出会いの機会創出 (オンラインイベントの開催、DX婚活支援など)

施策案の具体例

南部・東部地域の目指すべき将来構想（ありたい姿）を進める上での12のテーマから4テーマを抜粋して、具体的な施策案のプロセスと活用可能なサービス例を記載する。



(1) 高齢者独居世帯の見守り支援



(3) 健康・医療支援



(2) 生産者の販売支援

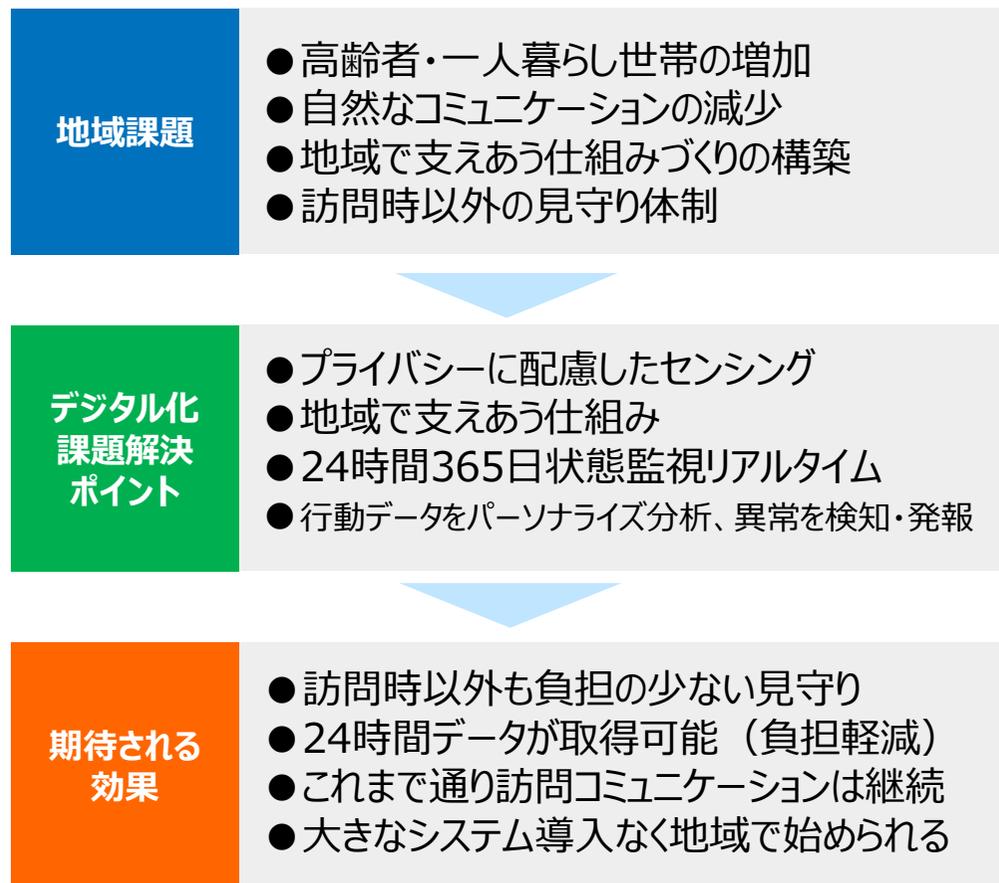


(4) 買い物支援

(1) 高齢者独居世帯の見守り支援 <施策概要／実現のためのプロセスとサービス例>

一人暮らしの高齢者へ見守り訪問を行っている事業者様へ、訪問日以外の高齢者の自宅状況をセンサーにて補完します。地域で支えあうデジタル化モデルを想定し、事業者様による見守りサービスの支援ツールとしての実施環境をご提供します。

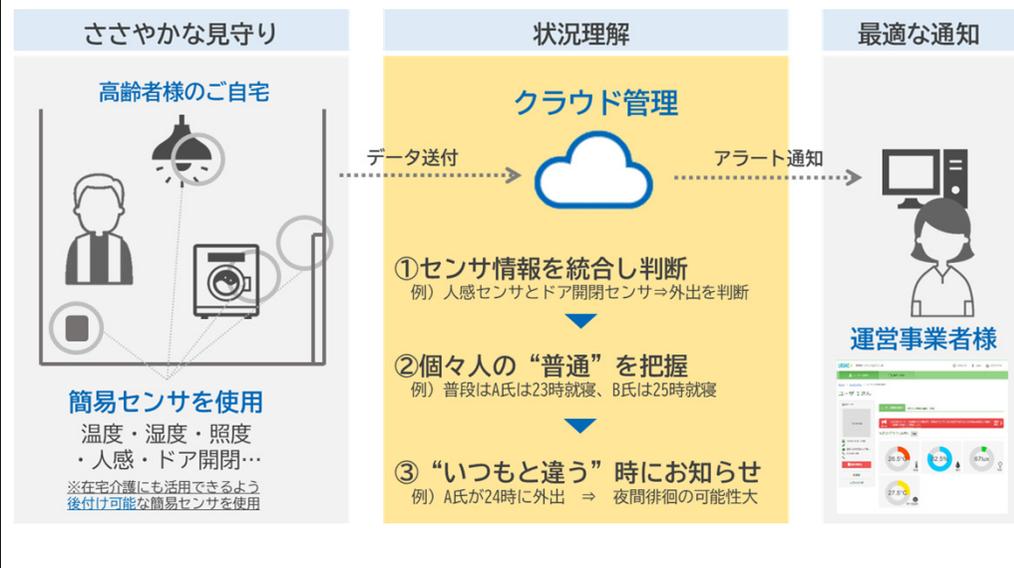
■ ありたい姿実現のためのプロセス



■ 活用可能なサービス例

【高齢者見守りサービス】

プライバシーに配慮した各種簡易センサーから、一人ひとりの行動データを取得。異常があれば検知し、地域運営会社による高齢者へのサポートを支援。

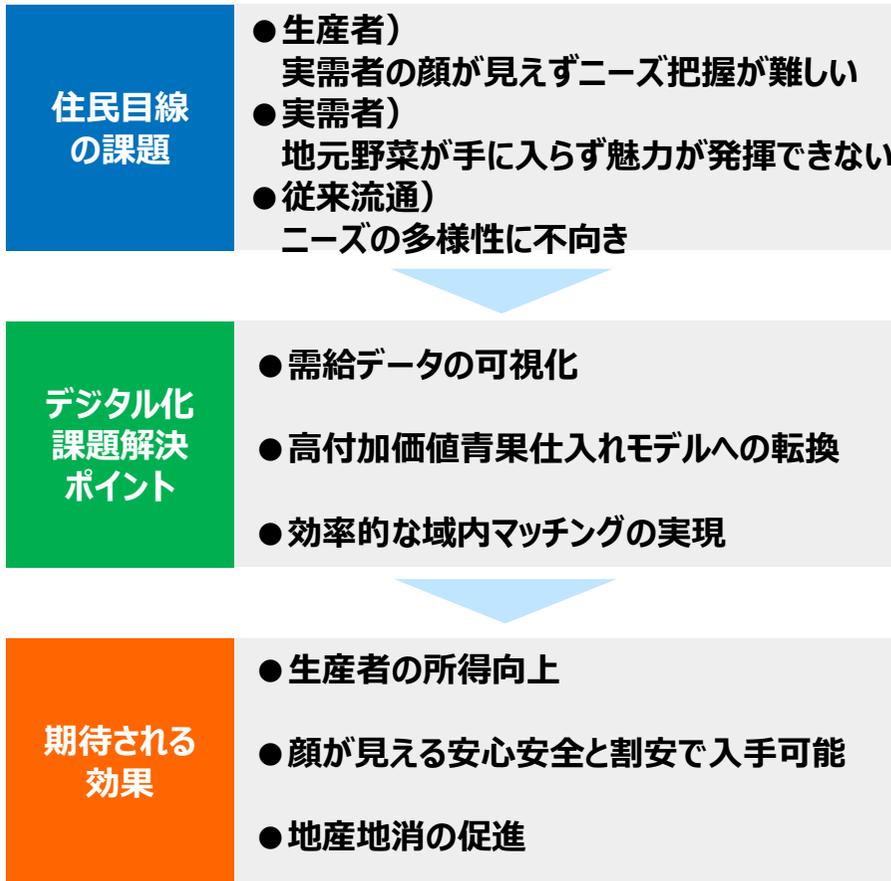


一人暮らしの高齢者世帯の見守りサービス支援により、安心安全な暮らしを支援

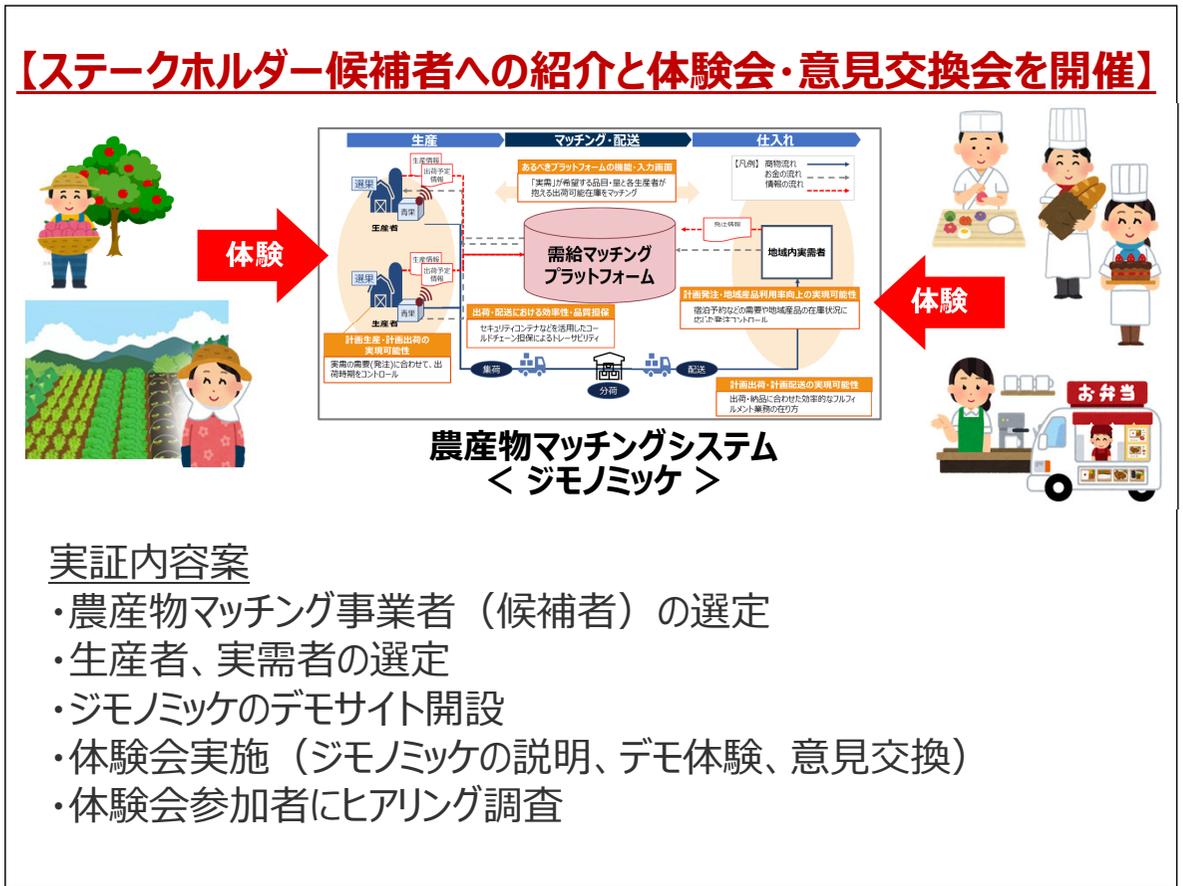
(2) 生産者の販売支援 <施策概要／実現のためのプロセスとサービス例>

地域の農産物の需要と供給の可視化をすることで、効率的なマッチングを実現する仕組み。
農産物のマッチング事業を実施する地域の中間事業者、また、地産地消のマッチングを検討する方々に紹介・体験してもらうことで事業参入・事業創業を促進する。

■ ありたい姿実現のためのプロセス



■ 活用可能なサービス例



地域内経済の活性化へ

(3) 健康・医療支援 <施策概要／実現のためのプロセスとサービス例>

自治体（事業者）の健康支援事業での活用を想定したサービス。住民用アプリには予防から医療まで一貫した機能を揃え、管理者側は参加者の歩数から健康行動の後押しや健診の受診勧奨などのお知らせ通知が行える。住民自身による運動の習慣化や、オンライン診療の実用性などが検証可能。管理者側の機能では、個別お知らせ通知、ポイント付与、ダッシュボード利用などが可能。

■ ありたい姿実現のためのプロセス



■ 活用可能なサービス例

【住民が受けられるアプリサービス】

健康(予防)
未病
医療

PHR

チャレンジ/
リワード

オンライン
エクササイズ

AI受診相談

オンライン
診療

オンライン服薬
指導・薬局

実証内容案
 スマホを所持しており、アプリ使用可能な住民を対象に実施。
 デジタルデバイドの世代別検証。需要機能精査。
 ※自治体（事業者）の管理者側の活用検討。

- ①健康機能（予防）・・・ 歩数と体重による消費カロリーの見える化
- ②症状AI相談（未病）・・・ 不安軽減と早期受診の後押し
- ③オンライン診療（医療）・・・ 早期受診による重症化予防

健康寿命延伸による要介護期間の改善／予防意識の啓蒙・早期発見

(4) 買い物支援 <施策概要／実現のためのプロセスとサービス例>

公共交通が整備されていない地域における妊婦・子育て主婦や病気・けがの方、高齢者等の買い物困難者を対象に、DX技術を活用した買い物支援の仕組みが望まれる。遠隔コミュニケーション技術を活用した買い物代行支援サービスの可能性活用し、実現に向けて実施。

■ ありたい姿実現のためのプロセス

住民目線の課題

- 高齢で免許返納した
- 近所にスーパーやショップがない
- 自分で選別して購入したい

デジタル化課題解決ポイント

- 遠隔での対応が可能
- オンラインによる買物代行
- 地元買物支援事業者の業務支援

期待される効果

- 見て選別できるオンライン買物
- 自宅や近くの施設で買物が可能に
- 移動時間を気にしなくてよくなる

■ 活用可能なサービス例

【住民が受けられるアプリサービス】

例) 外出せずにスーパーマーケットでお買い物をする



実証内容案

スーパー等ショップと自宅または地元施設をオンラインで結びます。
①買い物代行者×②利用客を想定し、遠隔コミュニケーションシステム『RemoPick』を使ってオンライン買物の体験会を実施。
※①②の候補となりうる想定者数名による体験実施
※体験後の意見交換会

「買い物支援のサービスの向上／買い物困難者のQOL向上

実証・評価の選定と考え方

南部・東部地域の目指すべき将来構想（あるべき姿）の推進テーマは、**各テーマを有機的につなげる「クラスター事業」**の**考え方**を可能な限り踏まえた上で、今年度3種の実証実験を行った。

実証① 高齢者独居世帯の見守り支援



実証② 生産者の販売支援



実証③ 医療・健康支援



評価された点

- | | |
|---|---|
| <p>＜管理者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 生活リズムを把握でき、より手厚い対応が実現できる ▶ 異常時の早期発見に繋がる可能性あり ▶ 自宅で寿命を全うしてもらうことに繋がる | <p>＜利用者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 気にかけてくれていると安心感がある ▶ 家族も利用者を見守れる安心感がある |
|---|---|

課題・要望点

- | | |
|---|---|
| <p>＜管理者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ サービス領域整理と駆け付け支援の検討 ▶ 個人に応じたアラートの調節 ▶ 心拍数がわかる機能の検討 ▶ 食生活の見守り機能の検討 ▶ 訪問時の確認事項の機能化の検討 ▶ 暮らしを楽しむ補助機能の検討 | <p>＜利用者・ご家族＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 家族とデータを共有したい |
|---|---|

課題解決に向けた方向性

- 見守りサービスとしての対応領域の整理。
- 個々の利用者の身体や環境に合わせたアラートの調整、利用者に応じた見守りを行う。
- 家族にも利用者のデータを共有して、管理者、利用者、家族が安心できるようにする。
- 心拍数データを取れる機能を追加など、異常時の早期発見に繋げる。
- 食生活、部屋の様子、臭いを把握できる機能などを追加し、利用者に対してより手厚い対応ができるようにする。
- 行政で導入コスト（イニシャル・ランニング）を一部負担する。

実現することでのメリット

- 管理者と家族が、安心して利用者を見守ることができる
- 管理者が、利用者により細やかなコミュニケーションが実現できる
- 利用者の異常時の早期発見ができる

評価された点

- ＜管理者＞
 - ▶ 計画生産へ向けた蓄積データを活用できる
 - ▶ 生産者と飲食店のコミュニケーションが促進される
 - ▶ 業務が効率化される
- ＜生産者＞
 - ▶ 自分で販路を探すことができる
 - ▶ 余りものが出た時、たまたまできた農産物、規格外などを捌くことができる
 - ▶ 統計データの活用
- ＜飲食店＞
 - ▶ 記録が残り、数字管理・経理面で便利
 - ▶ 生産者と直接コミュニケーションできる
 - ▶ 時間の制約がないネットは活用しやすい

課題・要望点

- ＜管理者＞
 - ▶ 一部の属人的な業務は必要
 - ▶ 農産物に対する細かな質問や量の交渉、特定の相手のみへの対応ができるとよい
 - ▶ 生産者・飲食店がデジタルに対応するしくみが必要
- ＜生産者＞
 - ▶ 発注まで時差がある
 - ▶ 数量を満たせない（小ロット）
 - ▶ 急な変更への対応が不安
 - ▶ 登録数が多いと手間がかかる
- ＜飲食店＞
 - ▶ 幅広い品揃えが必要
 - ▶ 100gなど最小単位での発注・配送してほしい
 - ▶ チャットでの交渉をしたい
 - ▶ 規格外の販売をしてほしい

課題解決に向けた方向性

- 管理者は、人材や予算、物流・商流に関わる準備を行う。
- 取引を活性化させるため、生産者・飲食店の勧誘を行い、両者のニーズや満足度を高める。
- スマホなどデジタルへの利用経験の少ない高齢な生産者に対して、操作やリテラシーを支援する。
- 小ロット・規格外サイズの販売、チャットでの交渉、特定の相手へのリピート注文を行えるようにする。
- 全野菜が一覧として表示され、各在庫数が一目で確認できるようにする。

実現することでのメリット

- 管理者は取引管理の作業が軽減される
- 生産者・実需者は履歴閲覧による事務作業が軽減される
- 統計データを活用して飲食店側の需要を予測し、生産者が計画生産と販売戦略を立てられる
- 生産者と飲食店のコミュニケーションのきっかけとなり、生産者のモチベーションアップと飲食店の付加価値があがる

評価された点

＜管理者＞

- ▶ 管理画面の視認性と操作性は好評
- ▶ 利用者別にカスタマイズして情報発信できるのは活用できそう

＜利用者＞

- ▶ 歩く意識が高まり、健康管理に役立つと感じた
- ▶ ポイント付与は歩く動機付けになる

課題・要望点

＜管理者＞

- ▶ ポイント付与など作業負荷軽減できると使いやすそう
- ▶ メッセージの利用者の既読機能があるとよい
- ▶ お知らせ配信に画像添付もできるとよい
- ▶ 高齢者にも使いやすい操作性
- ▶ 健診結果と歩数の相関性がわかると健康増進事業に繋がりそう

＜利用者＞

- ▶ アプリ設定時のUIの向上
- ▶ チャレンジの達成度合いがわかるUI
- ▶ 歩数と健康の相関性の根拠
- ▶ 情報量を絞った、シンプルでわかりやすいUI、操作性

課題解決に向けた方向性

- 保健師、医療従事者、栄養士からの配信や、対象者別にメッセージの送り分けもでき、活用幅がある。
- 管理者の配信と歩数との関連性、健診結果と歩数の相関性などが、裏付けられると行政事業で有効活用できる。
- 利用者がチャレンジ達成や健康の度合いを把握できるようにし、歩くモチベーションに繋げる。
- 情報量を絞り、より利用者に使ってもらいやすくする。
- 歩けない人や高齢者にも健康促進につながるコンテンツを追加する。

実現することでのメリット

- 管理者が利用者の健康状態を共有し、ターゲット別に健康への意識づけを行える
- 利用者が自分の健康状態を把握しながら、歩くなど健康になるアクションをとれる

南部・東部地域の目指すべき将来構想（ありたい姿）の実現イメージ

